



市町村合併を考える③ 《キラリとひかるまちづくりをめざして》

年末年始の公共施設の
運営について

医療機関は2つもいらない？
診療所は町民の負担？

～ 診療所が必要だった理由 ～

市町村合併を考える③

((キラリとひかるまちづくりをめざして))



11月7日(木)、町民センターにて、「市町村合併町民懇談会」が開催されました。会場は約200人の町民の皆さんで埋め尽くされ、市町村合併に対する関心の高さが感じられました。

今回、国が進める市町村合併は、全国ほとんどの市町村で検討がされるなど、その動きは一段と強まっております。その背景には、合併にあたり国からのさまざまな支援がある合併特例法の期限が、平成17年3月31日までとなっているからです。合併の協議に必要な期間は約2年。合併するにしても、しないにしても、その具体的な協議を関係4町で進める時期にきています。

今回の懇談会は、これからの合併論議を進めるうえで、町民皆さんが市町村合併についてどう感じているのか。どんなご意見を持っているのかをお聞きすることを目的に開催し、たくさんの貴重なご意見をいただきました。

「市町村合併を考える」の第3弾は、懇談会でのご意見などを中心にお知らせします。

強制的な 国の進め方

国は、地方交付税の削減など財政論議により合併を協力に進めていますが、地方自治を無視している面もあります。全国の市町村長も強制的な合併に遺憾を示しています。

しかし、長引く景気不況の中で国も地方も財政状況は厳しく、こうした機会に様々な角度から問題点を議論する大事な時期でもあります。

平田町長の開会あいさつ（要旨）

これまでの検討

町の合併研究会では、主に財政状況の検討を行い、合併パターンは北部4町の助役・担当課長による4町圏域行政推進勉強会では、広域行政のあり方を中心に検討し、来年4月からは介護保険事業の広域連合がスタートします。

まちづくりは 100年の大計

4町が合併した場合、一部の町だけがメリットがあるような合併は意味がなく、すべきではないと思います。昭和の大合併を見ても、端にあった町は人口が減って淘汰されています。

これからの議論の中で、農業の町と漁業の町が一緒になって大丈夫か。財政力が弱くなった町同士が一緒になって健全な町ができるだろうか。コミュニティが崩壊しないか。など、さまざまな角度で考えていかなければなりません。

まちづくりは、100年の大計にたって考える必要があります。

4町での 議論が必要

最近、近隣各町でも合併の説明会や懇談会をやっています。その中で、職員や議員の削減で行政効率が高くなるような発言もありますが、4町が集まっての議論を一度もやっていません。

地域の皆さんに誤解を与えないよう、4町の代表が集まって地域の将来を議論する時期にあると考えています。

今日の懇談会は、こうした議論の場を立ち上げるためにも、合併問題をみんなが検討しあいながら、瀬棚のあるべき姿を見出し、いきたいと思いい開催しました。忌憚のないご意見、積極的なご発言をお願いいたします。



懇談会で説明した資料の内容

■市町村合併の経過

- ①市町村合併の歴史 ②国などの動き ③合併パターン ④合併手続きと時間 ⑤特例措置の概要

■検討資料

①合併パターン4町の比較

- (1)町の概要 (2)人口の推移 (3)面積 (4)行政 (5)財政 (6)町税等 (7)住民サービス (8)産業・経済

②国が示す合併のメリットを考える ③合併しない場合の考え方 ④財政の将来推計



意見交換



※出席された皆さんから自由に発言していただき、町長・助役が回答する形で進めました。発言・回答内容については、紙面の都合上、趣旨を損なわない範囲で要約させていただいております。

Q

後世に悔いを残さないよう、
一丸となって考えるべき

いろいろな説明がありましたが、だいたい理解できました。

市町村合併は、するしないどちらかを選択しなければならぬが、厳しい財政状況が続くことにより変わらぬ。これからどのような地方自治を作り上げていくのか。合併後の地域格差や住民の意向反映などが懸念される。

期限付きの合併推進やミニ町村に合併強制など、国主導の合併という感がしてならない。合併しなければならぬのか、しなくても

いいのか、行財政のシミュレーションを早急に作る必要がある。

合併は選択肢のひとつ。住民が十分理解するには時間が必要。来年3月までに結論を出すには期間が足りないと感じる。目先の損得勘定や特例措置にとらわれるべきでない。

行政側からの情報提供が必要。上富良野町で行った町民アンケートでは、反対・わからない合わせて58%だった。

今後の協議の中で、メリットを検証する必要がある。後世に悔いを残さないよう、議会・町民が一丸となってこの問題を真剣に考えるべき。



A 町長

●ただいまの提案は、もともと受け止めています。全国の各町村でも期限を切った半強制的な進め方だと認識しています。

●地方制度調査会の思案は、合併期限までに相当数の町村が合併できないだろうという見方から、期限後の次の措置という考えですが、決まっているわけではありません。

●地方交付税を含めた地方財政計画が示されず、将来の小規模自治体のあり方が見えない中で議論は難しい。皆さんにきちんとした説明ができないのが大きな問題。

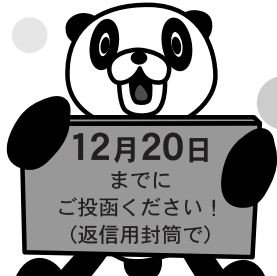
●直接皆さんと話し合うのは、今回が初めてです。広報でも情報は提供していますが、それだけでは理解できないと思います。今回このような形で相対的に説明し、皆さんからの意見をい

アンケート調査のお願い

町民アンケート
調査にご協力を！

ただいま、【町内在住20歳以上の全町民の皆さん】を対象に、市町村合併町民アンケート調査を行っています。皆さんのご意見を参考に、これからの議論を進めていきたいと思しますので、ご協力をお願いします。

12月20日
までに
ご投函ください！
(返信用封筒で)



●各町がまちまちな説明をしているので、4町の町長などによる任意の協議会により統一的な行動をとる方向に進めたい。

●地域や団体で懇談会の希望があれば、積極的に話し合う方法をとっていききたい。

ただし、今後の進め方としては、20歳以上の全町民を対象に簡単なアンケートを12月にやってみたいと考えています。そのあと、町民の代表による検討協議会を開きたいと思います。

Q 再質問

例えば、パターンに入っていない奥尻町も含めた検討も必要。住民意識の調査も必要。合併しない場合のメリット・デメリットの検討も必要。

町民は合併問題に関心がある。とにかく情報を出してほしい。

A 町長

●離島は別扱いの問題であり、奥尻町の考え方になります。南部6町の中で議論しており、北部には入っていません。

●住民周知は、これから今回の内容に基づいて情報提供していきたい。

●瀬棚町は、過去2回の合併の議論をしています。結果として、役場の所在地で話が壊れています。仮に合併するなら、まず役場の所在地がどこになるのか、町名をどうするのかを議論しなければ、最後にこの議論で終わってしまいます。これは、大きな教訓です。例えば、4町の森林組合の合併も、最終的に事務所の位置の問題で一つの町が抜けたという現実を考えると、こうした経験を生かしながら議論を展開すべきです。



Q

商人として、合併は反対

商人の一人として、合併されるといふことはますます過疎化が進むと思う。商人として、合併は反対。

合併しない場合の考え方も、町民の知恵を借りればよい意見も出てくる。

A 助役

●忌憚のないご意見をいただきました。これからさまざまな形の中で情報を整理しながら、瀬棚町の方向付けをまとめていきたい。

Q

知恵と工夫で生き残りを

ならない。
特例法の延期という報道もされています。議論を重ね、100年の計を間違わないようにしなければならぬ。町民に確実な情報の提供をしていただきたい。

A 町長

●できる限りの情報は提供していきたい。

最近、国の強引な進め方が露骨になってきている。北部4町の面積が別海町とほぼ同じ。この別海町は香川県と同じくらいの面積で、県の中には43の市町村があることからすると、全国一律に合併を進めることは問題。

中心になる町は繁栄し、周辺の町が寂れていくことは明白である。資料によるとメリットはほとんどない。市にもなれない。財政の締め付けもあるが、知恵と工夫を出しながら生き残りの方法を考えていかなければ

●個人の意見ですが、4町が合併した場合の中心は瀬棚・大成ではないと誰しも考えます。中心になる町の合併に対する考え方と、端の町の考え方には相当違いが出てきます。それを踏まえた中での対応を考えていかなければなりません。

●昭和の大合併の例のように、端の町が淘汰されないよう、建設計画の中に町の特色など今以上の手当てをしなければ、一部の町にしかメリットが出てこない。これはすべきではないと考



えています。

●4町が何もしないで自分の町の議論だけでも進まない。何らかの形の協議会をつくるべきと思っています。

Q

生き残りは、 町民の自助努力が大切

漁協合併の際は、大変苦労した。瀬棚町からも大きな支援をいただいた。

国の財政破たんから進められている、地域を無視した今回の合併は遺憾である。

町の中では、平田町長就任以来多額の借金をつくり、明日にでも倒産するようなことが聞かれたが、町広報で財政の説明があり心配ないことがわかり安心した。今日の説明でもよくわかった。

これは、必要最小限の対策としての温泉施設、保育所新築、診療所開設など町



民の声が大きかったことから進められたものと確信している。また、日本一になった茂津多岬灯台の改修により、安心して操業できるようになった。

大きな財産であるマリントアウンができることによって、瀬棚の浜が全国に出荷できる拠点となる夢を持っているので、この計画を進

めていただきたい。これは浜の総意である。

町の予算は、平成25年には7億6千万円程度の減となる説明がありました。が、時代背景から当然の論理であると思う。瀬棚町が生き残るためには、町民も町に頼ることなく、自助努力・自己責任が大切だと思う。

農業の町と漁業の町が一緒になってうまくいくのか心配している。今後の進め方について、どう考えているのか伺いたい。

A 町長

●基本的には、合併しないでやっていきたいと思っています。そのためは、生き残り策を考えなければなりません。当初から、合併を考えたことはない。

●大きな問題は、国が交付税の特別会計に44兆円の借金を作ったこと、不況の長期化が根底にあります。

●生産性を上げるための社会資本の整備は、マリントアウンを中心にやってきました。そして、新しい社会資本の整備として保健・福祉・医療の整備も概ね終わったと思っています。今後は、ソフト部分の充実となり、大きな財源投資は減るとすれば、現在の35億円程度の財政規模が25億円程度になっても、町民サービスに支障がないと考えています。

●これから、生産性につながるさまざまな課題に取り組んでいきたい。

●昭和の大合併のときは、瀬棚町は財政再建団体でしたから、今回以上に強制的な状況だったにもかかわらず、当時の関係者や町民の強い決意で合併しなかったという経過もあります。それほど覚悟を持って、皆さんのご理解をいただきながら進めたいと思っています。

Q

議論は、
尽くさなければならない

パターンの中の他の町では、4町合わせて570人の職員がいて、合併することで大幅に削減できると言っているが事実なのか。

今日の熊石町での総務省の方の講演では、3千人の町で30人も職員がいれば十分だと離されていた。8月に別の講演で聞いた内容では、合併の考え方の基本は役場の所在地や財産が問題となる。そして最後に職員が問題。小規模町村の役場は雇用場であり、経済効果にもつながる。職員削減だけで問題は解決しないと

いう話を伺った。

結果は別に、議論は尽くさなければならない。これから色々と意見の交換をしながら、勉強していきたい。

A 町長

●今まで議会との協議はほとんどなく、それぞれで検討してきました。次の段階として、議会との接点をどう進めていくか模索していきたい。

●これから本格的な議論になる場合、議会の議決を経て法定協議会を作るとなれば、当然、事前の協議を重ねなければならず、綿密な連携をお願いしたい。

●4町570人を200人には出る話ではない。病院や診療所だけで200人。簡単にそういう話をすべきでない。そのため、4町の基本的な姿というものを議論する必要があります。

Q

前向きな生き残り策を大前提に

先ほど、商店の立場で反対という意見がありました。私も、商人の一人として意見を述べたい。

商店は、町の形成に役立っていると思っている。役場の所在地にならなかった場合、職員の減少や交流人口の減も想定しなければならぬ。そうすると商店経営がでなくなる。自然淘汰で商店が減っていく。これにより、高齢者などへの公的なサービス以外のサービスが欠落していく。そして、不便さから人口の流出は避けられない。

合併してもしなくても、痛みはお互い我慢しなければならぬ。

最近の取り組みに対し評価されていることを考えると、瀬棚町のあるべき姿として生き残り策をもっと具現化する必要がある。もっと、前向きな生き残り策を大前提に進めるべき。

A 助役

●挑戦し地域を残したいというご意見を十分参考にし、今後の議論の過程で力強い意見として受け取りました。



Q

今金町の動きは

今金町で渡島を含めての動きがありますが、この合併パターンのとおりでしょう。

A 町長

●現在は、この4町で議論することになっています。介護保険の連合が立ち上がる中でそういう方向でいいのかという問題もあります。

●町民の意見や北桧山と今金の中心地の確執のようなものもあると思われますが、公の立場では今後も4町でやっていきたい。

地方制度調査会「西尾私案」とは

■首相の諮問機関・地方制度調査会の西尾勝副会長(国際基督教大学教授)が、平成17年3月に合併特例法の期限が切れる後の合併促進策として公表した私案をいいます。

■その内容は、全国の市町村を事務処理能力や財政基盤を備えた一定規模以上の基礎的自治体に再編するため合併を推進するもので、特例法の期限切れ後も合併しない小規模町村を対象に法律で最小人口を定め、一定期間かけて合併をさらに推進し、それでも合併しなかった場合、権限を大幅に縮小するか、自動的に合併せざるを得なくするという案です。

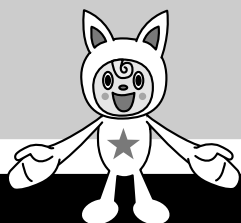


全国町村会で反対決議

■全国町村会は、11月27日、全国町村長大会を開き、西尾私案という形で打ち出された小規模市町村の強制合併や権限縮小などについて、反対の緊急決議を行いました。また、私案に対し「人口規模の小さい町村を切り捨てるのは横暴極まりない」などと強く批判し、来年2月に大規模な集会を開き、強制合併への反対運動を展開する予定です。



目指すは
キラリと光る
まちづくりです



好評発売中！

瀬棚町特産無添加アイスクリーム

吟子のろまん



12月21日までの期間限定セットです！！

贈答用にいかがですか？

放牧で育てた乳牛のしぼりたて生乳を原料に、無添加で製造したアイスクリーム「吟子のろまん」が、贈答用として期間限定（21日まで）のセット販売をしています。みなさんぜひこの機会にご利用ください。

価格（パンブキン、ブルーベリー、ミルク各2個）

●6個入 2,500円（送料・発泡代含）

お問い合わせ・申込先

●ヤマト運輸（株）瀬棚支店 ☎4-5930



新生

吟子物語

「アイガモ農法」有機米使用
瀬棚町特産純米酒

仕込み蔵が変わって新登場！！

新生「吟子物語」発売中

今年、収穫されたマツマエ（酒米）で醸造した純米酒「吟子物語」が12月7日より、町内の各酒販店で販売されています。今年から転換中だった原料の米も完全有機米となり、仕込みの蔵元が数々の鑑評会で受賞している福島県「奥の松酒造」に変わり、新しく生まれ変わりました。

価格

●1.8ℓ・2,500円 ●720ml・1,350円

お問い合わせ先

●瀬棚町酒販店組合（商工会内）☎7-3435

公共施設の年末年始の運営について

国保医科診療所

- 12月31日～1月5日/休診
休日当番医療機関
 - 1月2日/午前10:00～正午
 - 1月6日～/通常どおり
※年末年始の休日当番医療機関については、チラシをご覧ください。
- 【問い合わせ先・休診日の連絡先 ☎7-2470】

役 場

- 12月31日～1月5日/閉庁
※戸籍・住民票・印鑑証明などが必要な場合は、12月30日までに戸籍窓口で手続きを行ってください。
 - ※そのほか、急を要する場合は役場に連絡願います。
 - 1月6日～/通常どおり
- 【問い合わせ先 ☎7-3311】

国保歯科診療所

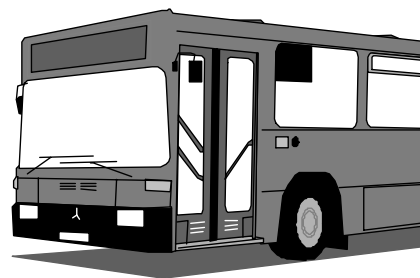
- 12月27日午後～1月6日/休診
 - 1月5日～/通常どおり
- 【問い合わせ先 ☎7-3170】

公営温泉浴場やすらぎ館

- 12月30日/通常営業
 - 12月31日/午前10:00～午後6:00
 - 1月1日～3日/午後1:00～午後9:00
 - 1月4日～/通常営業
- 【問い合わせ先 ☎7-3841】

せたな号 年末年始運行について

- ご予約お問い合わせ先
札幌 北都観光㈱ ☎011-241-0241
- 運行バス会社
札幌 銀嶺バス㈱ ☎011-682-2000



【運行日】

- 平成14年12月28日から平成14年12月31日
- 平成15年1月1日 運休
- 平成15年1月2日から平成15年1月5日まで

札幌の発着場所が
変わりました

【運行時刻】

- センチュリーホテル 1階（札幌市中央区北5条西5丁目）9：00発

札幌発 (センチュリー・ロイヤルホテル1階) 9:00	→	今金着 (町民センター) 13:40	→	北檜山着 (温泉ホテル) 13:50	→	瀬棚着 (瀬棚町役場) 14:00予定
-----------------------------------	---	--------------------------	---	--------------------------	---	---------------------------

- 瀬棚町発（瀬棚町役場）14：50発

瀬棚発 (瀬棚町役場) 14:50	→	北檜山発 (温泉ホテル) 15:00	→	今金発 (町民センター) 15:10	→	札幌着 (センチュリー・ロイヤルホテル1階) 20:00予定
-------------------------	---	--------------------------	---	--------------------------	---	--------------------------------------

医療機関は2つもいらない？ 診療所は町民の負担？

～ 診療所が必要だった理由^{わけ} ～

「瀬棚町に医療機関は二つもいらない。診療所は町民の負担となっている。」こんな話が町民から出ているという話題が寄せられました。そこで、「なぜ診療所が必要だったか」を、この機会に改めて考えてみましょう。

信頼できる医療機関を選べることに…

なぜ、「二つもいらない」と考えるのでしょうか。医療機関が町に複数あれば、自分が信頼出来る方を選択できるので、皆さんにとっても良いことだと思います。さらに、お互いの競争原理によって、よりサービスの向上にもつながるのではないのでしょうか。

診療所は町民の負担？

診療所を建てるのに多額の借り入れをして、それを返済するためそれが町民の負担になるということだと思いましたが、以前広報などでもお知らせしましたように、診療所建設に町が負担した金額とこれから負担していく金額は、大きな金額ではなく、確かな償還計画が立てられ、町民皆さんに負担をおかけするようなものではありません。

また、診療所の運営に必要な費用の町からの繰り入れも、医師などの努力によって当初計画より下回っています。

**診療所建設は
多くの町民の願いから**

瀬棚町に診療所を。この議論は平成5年から始まり、町に「保健医療対策協議会」、議会に「医療問題調査特別委員会」が設置され、翌年「瀬棚町の医療の将来構想」を策定し、19床以下の診療所の整備が適当との結論が出されました。

さらに、平成8年に町民アンケート調査を実施し、回答者の約70%の方が入院のできる医療機関の設置を希望。翌年「保健・医療施設基本計画」を策定し、議会まちづくり調査特別委員会において承認されました。

このように、診療所は町民の強い願いのもと、議論を重ねて建設されたものです。

**病気になるらないための
予防に力を**

診療所ができる前の夜間・休日の救急患者のほとんどは、隣の北松山町や今金・八雲にお世話になっていました。

が、現在は6割程度を診療所で対応しています。

また、予防接種や乳幼児健診のときは、七飯町の高齢のお医者さんにお願ひするなど、ほかの町からお医者さんをお呼びしました。こうした経験から、保健・福祉を機能充実させるためには、医療との連携がなければならぬと感じました。診療所ができて、そこに地域医療に情熱を持っている医師が赴任されたことで、個々人にあった確かなサービスの提供ができるようになりました。

病気になってからでなく、病気にならないための予防（二次医療）に力を入れることなどで、寝たきりにさせない、要介護度を上げないためのサービスの提供や健康人をつくり、医療費を削減していくという新たな取り組みは、全国的な話題になっています。

保健・医療・福祉が連携できる環境の中で、より充実したサービスの提供を続けていきたいと考えております。

**診療所による
まちづくり効果**

診療所が町の活性化につながっているということにも目を向けて見ましょう。以前にもお知らせしておりますが、マイナス面だけを見るのではなく、さまざまな効果があることを今一度考えてみていただきたいと思います。

瀬棚町国保医科診療所
外来患者診療状況



2002年10月分（単位：人）

日	曜日	国保	社保	一般	老人	計
1	火	9	26		36	71
2	水	24	40	4	71	139
3	木	29	21		25	75
4	金	12	25	2	22	61
5	N	10	17	2	4	33
6	H		1			1
7	月	24	30	1	36	91
8	火	6	17	2	34	59
9	水	17	38	3	55	113
10	木	15	28	3	14	60
11	金	18	36	3	38	95
12	N	22	40		45	107
13	H	2				2
14	I		2			2
15	火	21	34	2	49	106
16	水	24	34	2	69	129
17	木	23	24		17	64
18	金	24	33	2	22	81
19	N	5	23	2	4	34
20	H		1			1
21	月	23	29	7	29	88
22	火	18	22	1	30	71
23	水	27	32	2	67	128
24	木	21	44	1	18	84
25	金	23	41	2	38	104
26	N	35	41		44	120
27	H	1			1	2
28	月	30	33	2	32	97
29	火	11	20		46	77
30	水	35	49	3	68	155
31	木	19	24	1	27	71
合計		528	805	47	941	2,321

※上記人数には訪問・往診の数も含まれております。

入院患者	国保	社保	一般	老人	計
延人数	9	25		267	301

【担当：国保医科診療所事務係長 上野宏行】



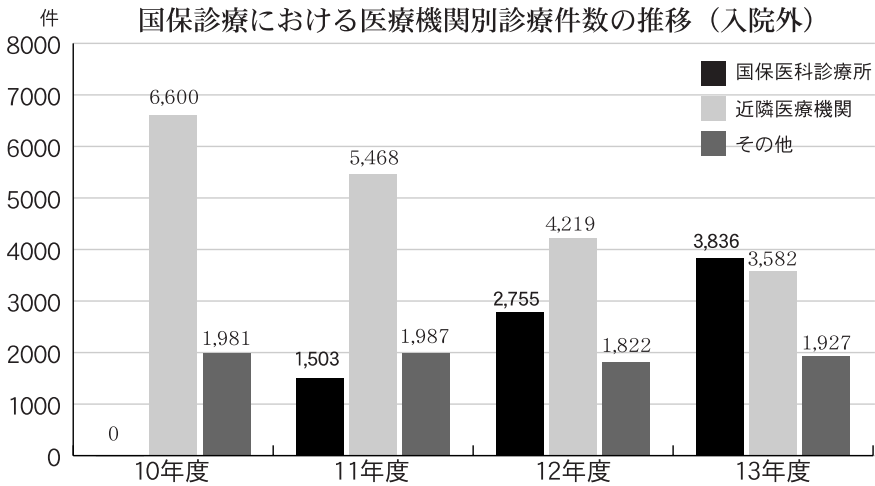
- ◎一次的効果としては、
- z 早期診断、早期治療による医療費の減少
 - x 休日、夜間等救急時の適切な医療の提供（2次、3次医療機関へつなぐ医療）
 - c 訪問診療・訪問看護等による在宅医療の充実
 - v 保健福祉との連携による適切な介護・在宅サービスの提供
 - b 地域の健康問題の把握により、公衆衛生対策への迅速かつ的確な対応など
- ◎二次的効果としては、
- z 雇用の場の確保（職員等32人）
 - x 地元消費の増加（施設運営上の直接消費、職員等による間接消費）
 - c 地元通院等による時間の短縮、交通費の削減
 - v 町民税収入の増加

【担当：診療所事務係長 樋口省三】

下のグラフは、瀬棚町の国保加入者の入院外診療に占める医療機関別の割合をグラフ化したものです。（近隣医療機関とは、瀬棚町、北檜山町、今金町、八雲町の医療機関で、瀬棚町国保医科診療所を除いています）

診療所は、所長はじめスタッフの努力により、瀬棚町はもとより近隣の町からの患者さんが増え、この地域になくてはならない存在になっています。そして、単に医療機関としてとらえるのではなく、瀬棚町の保健・医療・福祉全般にかかわる機関であり、「町民が健康で安心して暮らせるまちづくり」を進めるうえで、なくてはならない存在だということをご理解いただきたいと思います。

町に欠かせない
大きな存在に





瀬棚保育所クリスマス遊戯会 上手にできたでしょ！

12月8日、町民センターで瀬棚保育所によるクリスマス遊戯会が開催されました。それぞれ、かわいい衣装を身につけての踊りや楽器での演奏など、一生懸命練習した成果をお父さんやお母さんたちの前で元気に披露しました。また、途中にはお母さんたちの楽しい出し物もあり、子供たちも大喜び。そして、最後にはサンタさんが登場して、頑張った子供たちにプレゼントを手渡しました。

クリーンで美しい瀬棚の大地を守るために 農業にも大切なリサイクル

11月7日、農業用廃プラスチックの搬出作業が行われました。これは、農産物の生産資材として使用される農業用廃プラスチックを適正処理し、クリーンな環境づくりを目指すことなどを目的に瀬棚町中山間事業協議会が事業主体として、地区協議会・農協青年部の協力により実施したものです。（檜山では、瀬棚のほかに厚沢部が実施）

協議会では、取り組み方を協議し適正処理や保管の仕方などを事前に農業者へ周知していました。そして、農業用廃プラスチックは、ハウスなどに使用される塩化ビニール系（農ビ）とサイレージ用ラップフィルムや肥料袋などのポリエチレン系（農ポリ）に分けて農業者が分別し、適正保管をしていました。（瀬棚町の農業形態として主な廃棄物は農ポリです）

農ビは、三笠市のリサイクル処理場、農ポリは苫小牧のリサイクル処理場で、工業用燃料（廃個物固形燃料RDF）として再利用されます。

11月6日、農協青年部の協力により、一時保管場所の瀬棚中学校スクールバス車庫に集められた農業用廃プラスチックは、農ビが240、農ポリが2,930で、翌日（7日）、専門業者のトラックに積み込み、搬出しました。処理には1あたり26円（再生処理料・輸送料）かかり、全額協議会が負担します。

今後は、冬期間にサイレージ用ラップフィルムが使われるので、来年度は、春と秋の2回、回収する予定です。



コリドール交流情報館

～行ってみよう！となりまち～

八雲町

いよいよスキーシーズンの到来 町営スキー場オープン

スキーの上級者から初心者まで楽しめる3コースを整備し、2人乗りのリフトや休憩施設も完備してます。スキー、スノーボードを楽しんでください●オープン／12月21日（土）午前10時～ ※積雪状況で変更する可能性も有●リフト料金／1回券（大人120円中学生以下70円）1日券（大人1,800円中学生以下1,000円）このほかに、回数券（11回）、時間券（3時間）、シーズン券も有。※オープン日は無料で運行！●場所／八雲町春日（旧スキー場東側隣接地）●お問い合わせ先／八雲町総合体育館 ☎01376-2-2141

長万部町

ロマンチックな冬の花火 ど〜んと花火だ108発！

2003年夢を咲かせて長万部と題して、元旦に108発の花火を打ち上げます。今年で10周年を迎えた、冬の花火をご覧ください。●日時／1月1日（水）午前0時●会場／飯生神社広場※振る舞いのサービス、年越しそばの屋台もあります。●問い合わせ先／同実行委員会 ☎01377-2-2157

熊石町

お歳暮やお節料理に… 活アワビゆうぱっく

海中養殖された「アワビ」をふるさと小包で全国に配送。酸素と保冷剤を入れて「生きたまま」お届けする熊石町の味覚。お歳暮やおせち料理にご利用ください。●料金／10個入 5,470円（道内）個数増・他地域郵送可●お問い合わせ先／熊石郵便局 ☎01398-2-3380

大成町

宿泊施設紹介 国民宿舎「あわび山荘」

貝取潤溪谷の雄大な自然に抱かれている「あわび山荘」。心と身体を癒す温泉と地元の旬の素材をいかした郷土料理でゆったりとリラックスできるひとときをお約束します。●場所／大成町字貝取潤●宿泊料（1泊2食付税込）／大人7,100円・小学生6,060円・幼児（寝具のご利用のみ）1,460円※あわび鍋などの特別料理もあります。●お問い合わせ先／国民宿舎あわび山荘 ☎01398-4-5522

北檜山町

健康をバックアップ 健康野菜「ヤーコン」

話題のフラクオリゴ糖・ビタミンA・ビタミンC・カリウムなどを豊富に含んでいて、しかも食物繊維たっぷりの低カロリー。整腸・便秘改善・糖尿病の方の健康をバックアップします。●規格／4kg詰め S・M・L●価格／M（道内）2,400円（運賃込み）●問い合わせ先／新函館農協若松支店 ☎01378-5-1331

今金町

12月22日オープン ピリカスキー場

ピリカスキー場が12月22日オープン。●リフト券料金（1日券）／大人2,800円、小人・シルバー2,150円 ※ほかにも回数・ナイター・シーズン券があります。団体割引は10人以上から。●営業期間／スキー場（3月中旬まで）ナイター（1月1日から2月末日まで）●お問い合わせ先／クアブラザピリカ ☎01378-3-7111



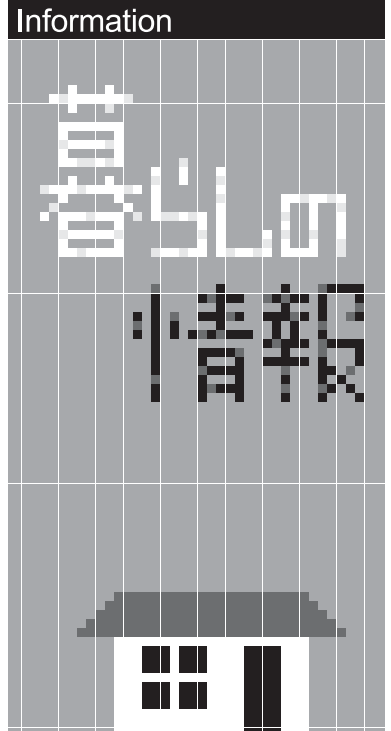
馬場川小学校の生徒たちが丹誠込めて栽培したカボチャを販売 おいしい、おいしい、馬場川パンプキン

11月6日、馬場川小学校の生徒たちが役場で、自分たちが栽培したカボチャを販売しました。昨年は、「みやこカボチャ」でしたが、今年は「メルヘン」と「雪化粧」という2種類のカボチャを生徒たちが丹誠込めて栽培しました。当日は、あいにくの雨ということもあり、外で販売はできませんでしたが、自作の看板や試食コーナーなどを用意して、お客さんたちを呼び止め、自分たちが一生懸命栽培した2種類のカボチャを説明するなど、栽培から販売までという貴重な体験を行いました。用意したカボチャは、生徒たちの頑張りですべて完売しました。



津軽三味線「新田親子」コンサート 津軽三味線界の親子鷹が見事な音色を披露

11月24日、町民センターを会場に瀬棚町文化団体連絡協議会主催による津軽三味線「新田親子」コンサートが開催されました。親子それぞれが全国大会で優勝経験があり、全国で活躍中ということで、その素晴らしい音色とテクニックを鑑賞するため、会場を満員のお客さんが埋め尽くしました。親子の息の合った演奏と素晴らしいテクニック、そして、楽しいトークで会場も盛り上がり、お客さんも短い時間でしたが津軽三味線の世界を堪能しました。



ハローワーク からのお知らせ

平成14年12月・平成15年1月の
函館公共職業安定所職員の北
松山職業相談室派遣日は、次の
とおりとなります。

北松山職業相談室での雇用保
険受給手続きについては職員派
遣日に職員が取扱いをします
が、職員の派遣日以外ハ雲出
張所で手続きをしていただくこ
とになります。

また、お仕事に関するご相談
を派遣日以外でも随時行ってお
りますのでお気軽にご相談くだ
さい。

日時

- 12月11日（水）午前9時～午後5時
- 12月18日（水）午前9時～午後5時

- 12月24日（火）午後2時～午後5時
- 12月25日（水）午前9時～午後5時
- 12月26日（木）午前9時～正午
- 1月7日（火）午後2時～午後5時
- 1月8日（水）午前9時～午後5時
- 1月15日（水）午前9時～午後5時
- 1月22日（水）午前9時～午後5時

【問合せ】北松山職業相談室

☎01378・4・5724

【問合せ】ハローワーク函館

☎0138・26・0735

【問合せ】ハローワーク八雲

☎01376・2・2509

12月は町税と道税の 納税推進強調月間です

今年も残すところあとわず
か。あなたの納税はお済みでし
ょうか？町と道では、12月を
「納税推進強調月間」として、
各職員が徴収のため戸別に訪問
するなど、滞納整理を実施しま
す。

今一度、お手元の納税通知書
をお確かめください。納期を過
ぎているものについては、至急
納入くださいますようお願いし
ます。

また、やむをえない事情によ
り納税ができない方や遅れてい
る方は、必ず納税方法などに
ついてご相談ください。

町税や道税は、私たちが住ん
でいる地域・社会づくりの大切
な財源です。皆さん納税を済ま
せさわやかな新年を迎えましょ
う。

町税についてのご相談は、役
場財政課へ、道税について
は、榎山支庁税務課納税係にお問
い合せください。

【問合せ】役場財政課

☎7・3311

【問合せ】榎山支庁総務部税務課

☎01395・2・1010

平成14年度自衛隊生徒募集のご案内

専門技術者としての陸・海・空曹を養成する制度です。給与・
手当を支給されながら高等学校の教育と卒業資格が得られます。

募集人員

- 陸=約250名 ●海=約60名 ●空=約50名

資格

- 中卒（見込含）17歳未満の男子

受付期間

- 平成14年11月5日～平成15年1月7日

試験期日

- 1次=平成15年1月11日 ●2次=平成15年1月24～27日

合格発表

- 1次=平成15年1月20日 ●2次=平成15年2月18日

お問い合わせ先

- 役場総務町民課 ☎7-3311 ●自衛隊今金募集事務所 ☎2-0258

2003年/平成15年 新年交礼会

とき 平成15年1月6日（月）午後4時から
ところ 町民センター
会費 1,000円

毎年恒例の新年交礼会を上記の日程で開催しますので、ご近
所お問い合わせの上、ぜひご出席ください。

【担当：総務町民課総務係 高橋 純】

●犬や猫などの飼育管理についてのお願い！

最近、犬や猫の放し飼いによる苦情が大変多いです。飼い主は次のことに心がけ、他人に迷惑をかけないようにご協力をお願いします。
 q 捨て犬、捨て猫はしない！ w 野良犬、野良猫にエサを与えない！ e みだりに繁殖しないよう不妊処置を！

戸籍の窓口

KOSEKI NO MADOGUTI



お誕生おめでとう

○澤田 ^{たかあき} 孝秋くん
 澤田健人さん・美花さん/本町10区

○神田 ^{あらし} 嵐くん
 神田和浩さん・啓子さん/本町9区

おくやみ申し上げます

○長内キヨノさん (90) 本町7区
 ○西井 五月さん (85) 本町4区

(10月15日から11月14日まで届出)

人口と世帯

11月末現在 (前月比)

人 口	2,811人 (+ 4)
男	1,345人 (+ 5)
女	1,466人 (- 1)
世 帯	1,162世帯 (+ 1)

冬！だけど、
食中毒には要注意

食中毒は冬でも発生しています。特に小型球形ウイルス (SRSV) による食中毒は冬に多数発生しており、前の冬は、年が明け平成14年になってからでも13件、患者数で47人の発生が確認されています (平成14年9月末現在)。このウイルスは強い感染力を持つことが知られており、これに汚染された飲食物 (特に生カキなど) を食べることで、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などの症状が引き起こされます。

また、感染者やその吐物、糞便などの接触による二次感染も報告されています。

食中毒の予防は「つけない (清潔)、ふやさない (迅速または冷却)、やつつけろ (加熱と殺菌)」の三原則を守ることが

12月1日よりさらに規制が厳しくなりました！

ごみの不法投棄及び
ごみ焼却についての
お願い

最近、ごみの不法投棄や家庭のごみ焼却炉でのごみ焼却による煙や悪臭について、苦情が大変多く寄せられています。家庭でのごみ焼却やごみ不法投棄は法律で禁止されています。(くわしくは、先日配付したチラシなどをご覧ください) クリーンな環境づくりのため、ごみはきちんと分別し、家庭でのごみは燃やさないよう、町民皆さまのご協力をお願いします。

大切です。
食中毒を予防し、冬を快適に
過ごしましょう。

問合せ 八雲保健所生活衛生課
 ☎ 01376・3・2168

総務町民課戸籍年金係からのお知らせ

担当/浜登幸恵

過去に加入していた厚生年金
大切に活かしていますか？

年金は、過去の厚生年金加入期間と、国民年金を納めた期間と免除期間を合わせて25年以上あれば年金を受ける資格がつき、40年ではじめて満額の年金を受け取ることができます。25年未満の方は、10年・20年厚生年金に加入していたとしても、年金を受け取ることができません。

現在、国民年金を納めていないと、過去の厚生年金が掛け捨てになってしまう可能性があり、また、将来厚生年金に加入するようになっても同様です。

将来のため、家族のために、納めてきた保険料をむだにしないためにも、「納付を続けること」、「免除制度を利用すること」で国民年金に加入し続けましょう。



国民年金を支払った期間や過去の厚生年金の加入期間の確認方法など年金に関することでお困りのことがあればお気軽にご相談ください。



瀬棚港に白鳥が訪れました

瀬棚港に1羽の白鳥が訪れました。上の写真を提供してくれた鵜入泰宏さん（本町8区）の話によると、11月18日、午前8時頃、瀬棚港に1羽の白鳥が訪れているのを見つけたそうで、白鳥は首を水中に入れて何かを食べている様子でしたが、1時間ほどで姿を消してしまったということです。また、去年の同じ時期にも1羽の白鳥が瀬棚港に訪れていたそうです。



編集後記

▼今回は、市町村合併町民懇談会の内容をお知らせしました。ご覧のように、合併に賛成する意見はなく、単独での生き残りを求める意見が相次ぎました。国は、特例法の期限切れ後の対策として、小規模町村の権限の縮小や強制合併という、これまで以上の厳しい条件をまとめようとしています。▼最終的にどんな内容で示されるのかはわかりませんが、こうした動きは少なからず小規模町村に影響をもたらすことになるでしょう。そして、期限切れを逆算して本格的な協議の場である協議会の設置は全国的に進むことと思われます。▼今回の懇談会での意見、そして町民アンケート調査の結果をもとに、瀬棚町が進むべき方向を見出したいと思います。目指すのは「キラリと光るまちづくり」です。(E)

▼合併をしない場合どうするか？ ▼確かに財政面で取り組みも大切ですが、懇談会の中にも説明したように、①瀬棚は人の流れの玄関口 ②全国に誇れる地域医療の充実 ③安心・安全な食べ物づくり、④風を生かしたまちづくり（洋上風力発電）、⑤マリタウンの静穏域を生かした増養殖事業、そして、ほかの町には例のない町民の健康や環境を配慮した、日本女医第一号「荻野吟子」女史の精神をさまざまなまちづくりに生かした取り組み、こうした「キラリと光る」町の特色（優位性）を生かしていくことが、瀬棚町の大きな力となるのではないだろうか。▼瀬棚町の進むべき道はどれか、皆さんと考えていきたいと思っています。▼表紙は12月6日の吟子物語試飲会の模様です。その中でも特に美味しそくに飲んでいた二人にポーズしてもらいました。次の日は大丈夫でしたか？▼あとは新年号ですね、もうひと踏ん張りです。表紙とつじようかな：それでは皆さんよいお年を (O)